

各位

2014年1月10日

KNT－CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成25年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比116.3%、学生団体は同116.1%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同116.2%であった。企画旅行については、東アジア方面や国立公園閉鎖の影響が残った米国方面を中心として苦戦したものの、前年比98.2%、個人旅行についても同97.3%と微減にとどまった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比103.2%と、前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比96.8%、学生団体は同98.7%となり、団体旅行合計で同97.8%と前年を僅かに下回った。企画旅行については同106.0%と前年を大きく上回り、個人旅行については同99.3%と前年と同水準であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、102.6%と前年を上回った。

外国人旅行は、大型マラソン大会をはじめとする、多くの国際的なスポーツイベントの取扱いもあり、前年比123.0%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の11月の総取扱額は前年比103.3%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は円安の影響を受けつつも、視察・研修やSIT等の需要を取り込み、前年比115.7%と前年を大きく上回った。学生団体も修学旅行を中心に前年比116.1%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で同115.8%と前年から大きく伸長した。

国内団体については、一般団体、学生団体とも、前年とほぼ同水準となり、国内団体旅行合計で同99.4%であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比99.9%と前年と同水準であった。方面別取扱人数の状況では、伊勢志摩、中国四国、首都圏方面などが前年を上回り、好調を維持している。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、アメリカ国立公園閉鎖の影響は残ったものの、クルーズやSIT、オセアニア方面などが好調に推移し、取扱額で前年比116.2%と前年を大きく上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、秋の主力である紅葉商品に加え、出雲と伊勢が引き続き好調であった。バス旅行部門も同113.4%と、前年を大きく上回った。テーマ旅行部門は、ほぼ前年と同水準であった。

以上